

【干拓に関わる遺産と 関連施設マップ】



①第一号干拓堤防



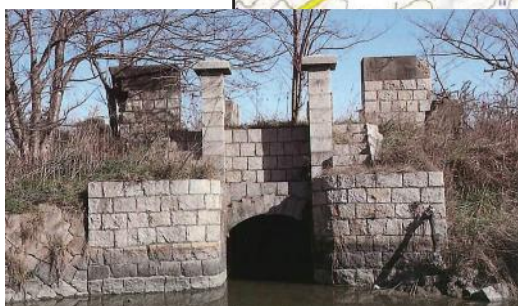
②第二号干拓堤防



③丙川三連樋門



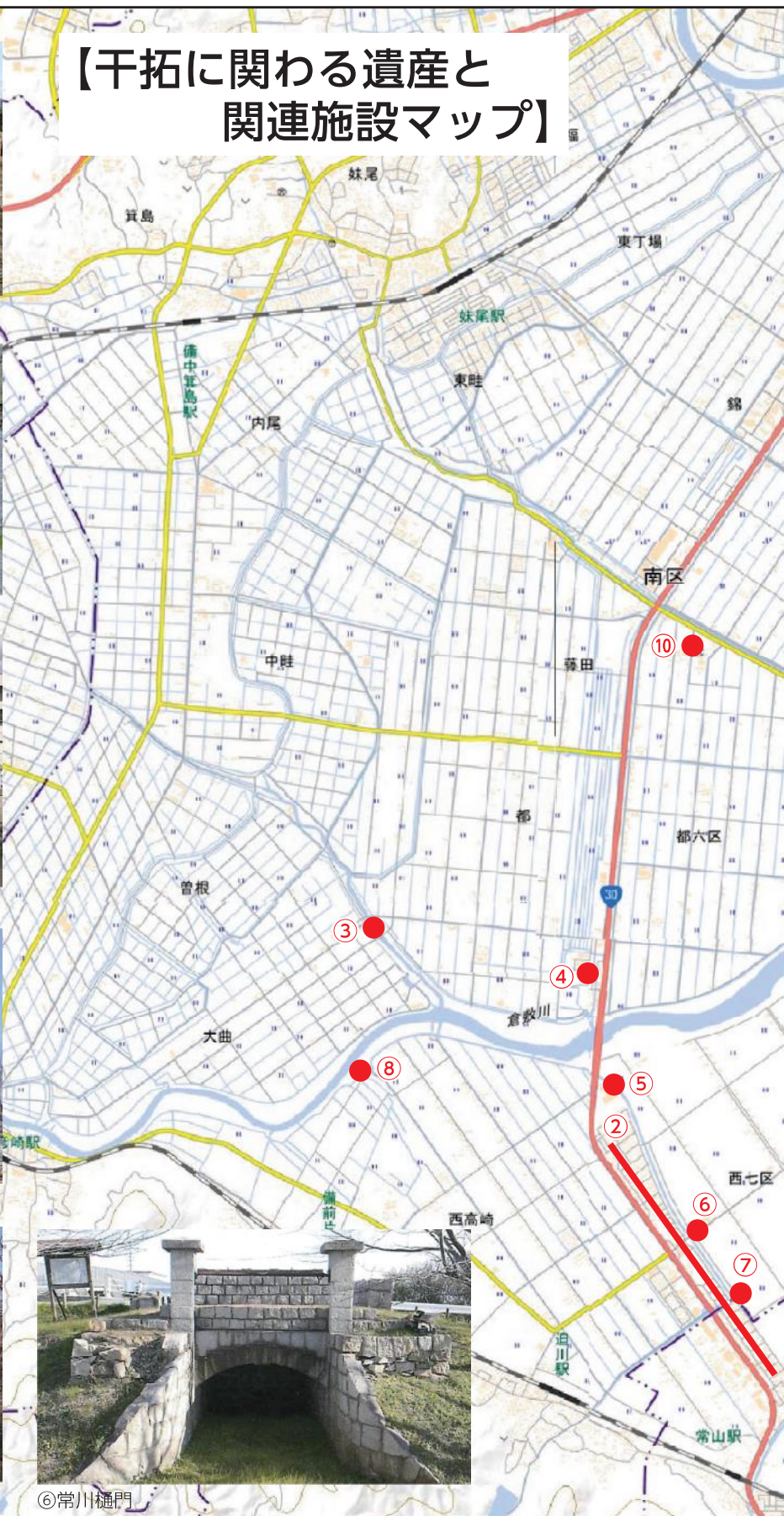
④桜の馬場樋門



⑤片崎樋門



⑥常川樋門





⑦宮川樋門



⑧奉還樋門



⑨児島湾干拓資料室



⑩岡山県立興陽高等学校

※ 地理院地図を加工して作成

干拓に関わる遺産と関連施設の紹介

①第一号・②第二号干拓堤防

初めに着工された第一区では、明治32年から翌年末に潮止め工事が完了しました。その工事で築かれたのが第一号と第二号堤防です。軟らかい地盤の上に堤を築くことは困難を極め、藤田組の技術者が工夫を重ねてようやく成功したものです。



第一号干拓堤防

「近代化遺産ガイドブック より」

第一号堤防のある加茂崎地区（玉野市）は、前面の海が干拓されておらず、完成当初の堤防がそのまま残っている貴重な場所でしたが、平成18年頃に改修されました。

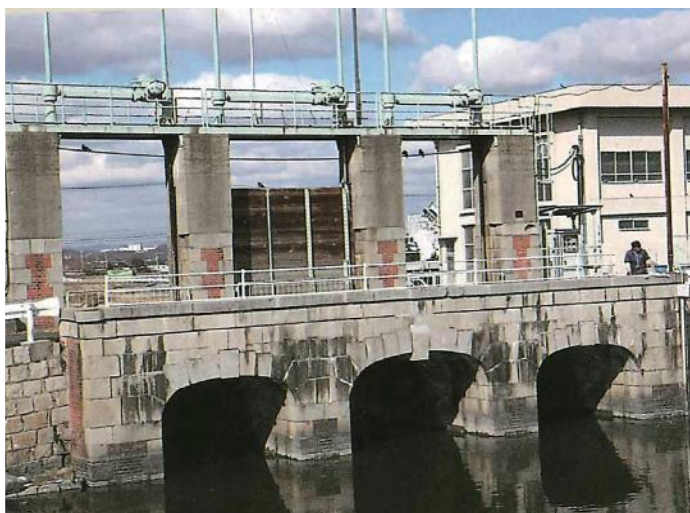
第二号堤防のある高崎地区（岡山市・玉野市）は、前面の海が後に干拓されたため陸地に取り残される形になりましたが、延長約2 kmの石積みの堤防跡が続く干拓地らしい風景を見ることができます。



第二号干拓堤防

③丙川三連樋門・④桜の馬場樋門

江戸時代以降、大規模な干拓が進められてきた岡山平野南部地域には、干拓用排水樋門※や灌漑用水の分水樋門などが数多く築造され、今なおその姿を見ることができます。



丙川三連樋門
「近代化遺産ガイドブック より」

丙川は、干拓された岡山市興除・藤田地区を児島湾に向かって流れる河川です。丙川に設置された三連樋門は、煉瓦と石で造られ、3つのアーチ型の水の通り道が設けられており、干拓を請け負った藤田組の技師によって設計されました。

明治期に造られた樋門の中では、規模も大きく立派なもので、デザインもヨーロッパ風で、現在も使用されています。

なお、妹尾川にも三連樋門（妹尾川三連樋門）がありましたが、工事に伴い取り壊されました。

かつて妹尾川（国道30号興陽高校バス停脇）にあった桜の馬場樋門は、国道の拡幅工事に伴って撤去され、約3km南の藤田スポーツ広場に移設、保存されています。

隅石とアーチの環の部分に花崗岩が用いられているものの、煉瓦を主体として造られているのが特徴で、石と煉瓦のコントラストが目を引きま。煉瓦には讃岐煉瓦株式会社の刻印があるそうです。

（※樋門） 干拓地の排水と用水路からの取水を行う水門のこと



桜の馬場樋門
「近代化遺産ガイドブック より」

⑤片崎樋門・⑥常川樋門・⑦宮川樋門・⑧奉還樋門

いずれも岡山市灘崎町にある樋門で、この地域（児島湾開墾第一区）が明治33年ころ潮止め工事を終えていることから、このころに造られたものと考えられます。



片崎樋門

「近代化遺産ガイドブックより」



宮川樋門



常川樋門

「近代化遺産ガイドブックより」

奉還樋門も花崗岩と煉瓦で造られていて、二連の開口部を持ち、片方は排水、もう片方は船を通していたようです。排水する通路は現在も使用されています。これらはいずれも、干拓にかかわった藤田組の技師たちによって設計されました。



奉還樋門

「近代化遺産ガイドブックより」

⑨児島湾干拓資料室

児島湾干拓地の全景写真、干拓の工法をはじめ、干拓の歴史を伝える記録や資料が収集・展示されており、干拓について学ぶことができます。

時 間：9：00～17：00

休 日：土、日、祝日、年末年始

駐車場：あり



⑩岡山県立興陽高等学校

この地域で使用されていた農機具や農業機械が多数展示されています。また資料室には、藤田組やこの地域の家庭で保存されていた貴重な写真も多数所蔵されています。

時 間：8：25～16：55

休 日：土、日、祝日、年末年始

駐車場：あり

※閲覧する場合は事前連絡が必要です。



「岡山シティミュージアムHPより」